

2021年 9月 16日

(あて先) 千葉市議会議長

議席番号 9番 氏名 渡辺忍

質問主意書

千葉市議会会議規則第61条の2第2項の規定により、質問主意書を提出します。

【質問項目・内容】(3項目6問以内)

1. 医療的ケアを必要とする児童の地域生活支援について

- (1) 医療的ケアを必要とする児童に対して不足しているサービスの現状と課題について
- (2) 医療的ケア児支援法の施行に際し、(保護者の離職防止の観点から) 放課後における受入状況と課題について
- (3) 「医療的ケア児等支援部会」の現状と今後について

2. 発達障がいの相談体制と親支援

- (1) 療育相談所と発達障害者支援センターにおける相談体制と利用状況及び今後について
- (2) 保育園・子どもルーム等における発達障がい児支援の現状と課題について
- (3) 巡回相談事業及び機関支援の実施状況と今後について

【質問文】(900文字程度)

1 医療的ケアを必要とする児童の地域生活支援について

本市で在宅の医療的ケアを必要とする児童は60人を超える、県調査では、短期入所や放課後等デイサービスなどを利用できていないとの意見が多く寄せられた。

市立病院による退院後の看護師による家庭へのアウトリーチ支援、医療的ケア児の保育環境整備、スクールメディカルソーターによる学校における医療的ケア児への支援など先進的な取り組みを評価する一方、看護師配置への補助額が保育士と同じであること、医療的ケアを必要とする児童の増減により、看護師の雇用の不安定さなど問題もある。

医療的ケア児支援法が施行され、今後県と連携し、医療的ケア児支援センターの設置、保護者の離職防止のための体制整備が必要となる状況下、保育(学童含む)や教育と障がい者福祉の連携が必要であり、3点伺う。

医療的ケアを必要とする児童に対して不足しているサービスの現状と課題について
医療的ケア児支援法の施行に際し、放課後における受入状況と課題について
医療的ケア児等支援部会の現状と今後について

2 発達障がいの相談体制と親支援について

発達障がい又は特性が強く見られる子どもの育児は親にとっても保育者にとっても困難を抱えることが多く、療育相談所の初診まで4か月かかる現状、特に保護者の育児困難感の軽

減が急務である。特性を活かすことで本市の大事な人材となる子どもの育つ環境への丁寧なサポートが求められる。

巡回相談事業すくすくサポート及び機関支援を活用している施設からは専門知識がある方の指導は大変有効と聞いており、評価している。本事業を知らず、利用していない保育園・子どもルーム等が多く、今後周知啓発を積極的に行うことで利用施設の増加が見込まれる。学校現場でも特に低学年などは福祉的視点での支援も必要ではないか。学校や子どもルーム等、保育現場での人員不足は大きな問題。

家庭でも、学校や保育現場でも怒られ続ける子どもへの2次被害をなくすために、早急に発達障がい及び発達に特性を持つ子どもたちへの施策の拡充が必要であり、3点伺う。

療育相談所と発達障害者支援センターにおける相談体制と利用状況及び今後について

保育・子どもルーム等における発達障がい児支援の現状と課題について

巡回相談事業及び機関支援の実施状況と今後について